

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス	④市民サービス	①	市民サービスの向上

事業名	火葬場維持管理事業	担当課名	市民課
-----	-----------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
背景: 公益性の高い、市民生活の基盤となる事業であるため、市が実施する必要があること。 目的: 適正かつ円滑な火葬執行により、公衆衛生その他公共の福祉を図ること。
(事業概要等)
①火葬の執行 ②施設運営及び維持管理

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	37,509	39,743	61,060	62,563	
うち市負担分(千円)	18,951	18,994	41,594	43,733	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
火葬場稼働日数	日	363	364	363	363
火葬取扱件数(死体・死胎・一部火葬)	件	675	752	693	700
(指標を設定できない理由)					
事業成果が目標(成果指標)による管理と親和性がないため。					
(成果の概要)					
①現時点において、適正かつ円滑な火葬の執行が行われている。 ②丁寧な清掃等により場内の環境美化は保たれている。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成23年6月より、動物の単体火葬を実施しており、平成25年度からは、泉大津市営火葬場「ゆうしお」にて直接搬入してもらっている。 平成29年度には、「案内表示システム」を変更し、案内表示が明確となった。 令和2年度から火葬炉老朽化による修繕に着手した。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	今後、施設の長寿命化を見通した改修計画の策定が必要と考える。
---------	--------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) (事業の目的・趣旨)に同じ。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス	④市民サービス	①	市民サービスの向上

事業名	公園墓地維持管理事業	担当課名	市民課
-----	------------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
背景: 継続性及び公営性が要求される事業であるため、市が実施する必要があること。 目的: 適正な墓地区画の供給及び維持管理により、市民の墓地需要に対応すること。
(事業概要等)
①墓地区画の供給(通年募集、一月ごとに抽選し、使用許可を実施) ②墓地使用に関する届出・記帳による管理 ③墓地使用者の管理料の徴収 ④施設内の一般管理

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	16,225	14,616	13,151	13,963	
うち市負担分(千円)	1,816	8,490	4,103	2,019	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
墓地区画供給数	区画	7	8	15	10
(指標を設定できない理由)					
通年募集により年間の募集件数を特定できないため、活動指標の実績値及び目標値の正確な設定が困難。					
(成果の概要)					
①返還墓地について、使用者募集を通年行った結果、墓地を有しない市民の需要に対して十分な供給を行うことができています。 ②敷地内施設及び駐車場については、丁寧な清掃をすることにより景観美化が保たれている。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	永代使用料は購入時に一括納付であるが、管理料については5年ごとの前納のため、連絡不通の利用者や滞納者が増加しており、納付書の再送付をする際には親族調査等を実施し、承継や住所変更の案内も同封することにより、管理業務の改善を図っている。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	近年墓離れが進み、需要数が減少傾向であり、墓地返還が増加傾向となっている。墓地供給から30年が経過していることから、管理事務所や共有部分の老朽化も見受けられるため、順次予算要望を行い改修をおこなっていく。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) (事業の目的・趣旨)に同じ。
改革・改善策等の具体的内容	【課題(問題点)】に関して 長期的な墓地需要及び近年の墓地区画の返還数の増加を考慮し、募集条件の緩和なども視野に入れて検討する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑦健全な行財政と都市経営 に基づく市民サービス	④市民サービス	①	市民サービスの向上

事業名	葬儀事業	担当課名	市民課
-----	------	------	-----

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
昭和26年に新生活運動の一環として低廉で荘厳な葬儀の執行を目的として発足。当初は直営にて葬儀を執り行ってきたが、時代の流れにより、平成14年度から民間事業者由市営葬儀業務を委託している。
(事業概要等)
納棺、祭壇の飾り付け、告別式の司会進行から火葬までの葬儀全般の執行を行っている。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,200	3,022	3,064	3,132	
うち市負担分(千円)	2,980	2,852	2,854	2,972	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
市営葬儀件数	件	16	8	8	10
葬儀件数	件	665	740	682	700
市営葬儀利用率	%	2.4	1.1	1.2	1.4
(指標を設定できない理由)					
年間の葬儀件数及び市営葬儀件数が特定できないため、成果指標の実績値・目標値の正確な設定が困難。					
(成果の概要)					
民間葬儀事業者の開業に伴い、市営葬儀の執行件数は減少傾向であったが、低廉な葬儀を希望する需要が一定数あることから近年は横ばい状態と考える。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	<ul style="list-style-type: none"> 平成14年4月1日以降の告別式執行分から市営葬儀業務を直営から民間事業者へ委託した。 委託事業者と連携を行い、市民要望の改善に努めている。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<p>令和2年6月から3年間の随意契約により市営葬儀1件の委託料金87,450円にて業務を行っている。</p> <p>また、葬儀を行わず火葬のみを希望する案件が増加していることから、市民ニーズに応えられるような仕様書等の見直しも必要と考える。</p>
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 葬儀の諸手続きについて全て行ってもらえる業者葬は、親族に人的負担の軽減を行っているが、金額的な負担が大きい。諸事情により民間葬儀を行うことができない場合に、低廉で荘厳な市営葬儀を要望する声は根強くあり、今後はコスト面やサービスのあり方等を検討しながら継続していく。
改革・改善策等の具体的内容	委託事業者が3年ごとに変更となるが、より充実したサービス提供のため日々検討に努めている。今後は、契約更新時には事業者の意見などを聞き、仕様等の見直しを検討していく。	